

ENEOS海外渡航支援事業報告書（学会渡航）

2026 年 8 月 22 日

工学部・工学研究科修士課程（どちらか○で囲む）
所属学科・専攻・回生 都市社会工学 学科・専攻 1 回生

氏 名 前田 柊

1. 参加期間 2026 年 8 月 19 日 から 2026 年 8 月 21 日

2. 会場（開催国・場所・機関等）

インドネシア・タルマナガラ大学
Asian-Pacific Planning Societies 2026 国際会議

3. 発表成果（概要）

「弾道ミサイル攻撃を想定した国民保護法に基づく緊急一時避難施設の指定状況」をテーマとして口頭発表を行った。発表では、研究の背景、全国における施設の指定状況や地域の特徴について説明し、研究内容を概ね分かりやすく伝えることができた。質疑応答では地下鉄を始めとする地下空間の指定状況など、3 件ほど質問をいただいた。いずれの質問からも、今後の研究の方向性を検討する上で有意義な示唆を得ることができた。また、日本、韓国、インドネシアをはじめとする各国の発表者による発表を聴講し、それぞれの国や地域が抱える課題や、現在の研究上の問題意識について理解を深めることができた。一方、質疑応答では、英語で自身の考えを即座に表現する力や、研究内容を十分に整理して説明する力が不足し、質問に対して的確に回答できない場面もあった。今回の経験を踏まえ、今後は英語での発信力を高めるとともに、自身の研究に対する理解を一層深めていきたい。このような貴重な発表・交流の機会を与えてくださった研究室の皆様、ならびに今回の学会参加に際してご助成いただいた ENEOS ホールディングス株式会社に感謝申し上げます。

4. 奨学金の使途

全額を渡航費として使用した。